

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【善前小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 国語の「主語・述語の関係を理解する」ということに大きな課題がある。</p> <p><指導上の課題> 「誰が何をしている」「誰がどんだ」ということを意識して文を捉えたり、読み取ったりしていく時間の設定が不十分である。</p>	⇒ 朝学習となる週一度の「基礎・基本」の時間で、「ドリルパーク」等を活用し、主語・述語の関係における理解を全学年で重点的かつ継続的に取り組む【月に2回程度の実施】。そして、本年度の市学力・学習状況調査等で、本校平均正答率と市(全国)平均正答率との差を、昨年度よりも縮められるようにする。
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 「話の内容を捉えたり、場面と図・式を関連付けたりする」ということに課題があり、さらには個人差が大きくなる。</p> <p><指導上の課題> グラフや表などの資料を活用したり、実際に書いたりする時間の設定が不十分である。</p>	⇒ 資料をもとに自分の考えをまとめたり、自身の考えを図や式、言葉等で表現したりする活動を充実させていく。さらに、協働的な学びを随時行い、自分の考えをペアやグループ、また全体で表現することができるようにする【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が85%以上】。

全国学力・学習状況調査
<小6・中3>(4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)